

漁海況情報第9報 (2013年12月10日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

表面水温は142° 30′ Eより西側で平年並み～低め、東側で高め、100m深では全体的に1～4℃高くなっています。

本県沿岸海域（142° 30′ E以西）の表面水温は12～15℃台となり、平年並みもしくは1～2℃低くなっています。一方、沖合海域（142° 30′ E以东）の表面水温は14～16℃台となり、平年より1～2℃高くなっています。100m深水温については13～16℃台となっており、平年より1～4℃高く、38° N、38° 30′ Nラインの沖合海域（142° 30′ E以东）では暖水渦により平年よりも3～4℃高くなっています。[P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。

水温鉛直断面図をみると、全体的に200m以浅の等温線の間隔が先月よりも広がっています。38° N、38° 30′ Nラインの沖合海域（142° 30′ E以东）には暖水渦により150m付近まで15～16℃台の水温となっています [P2.水温鉛直断面図]。

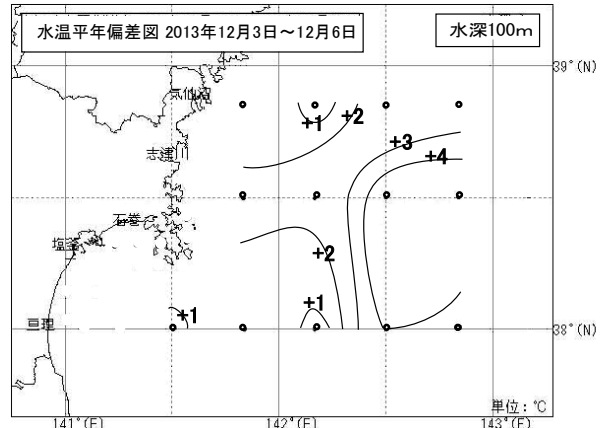
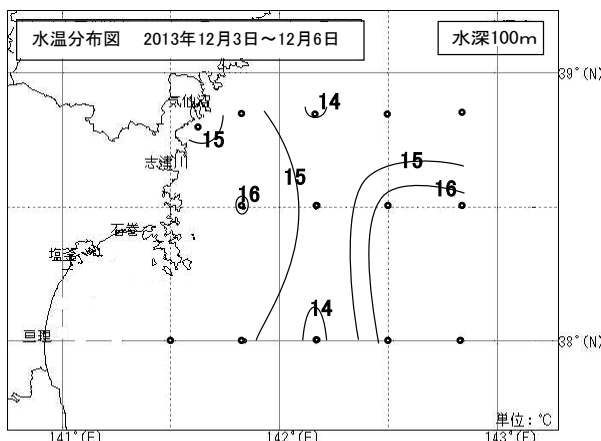
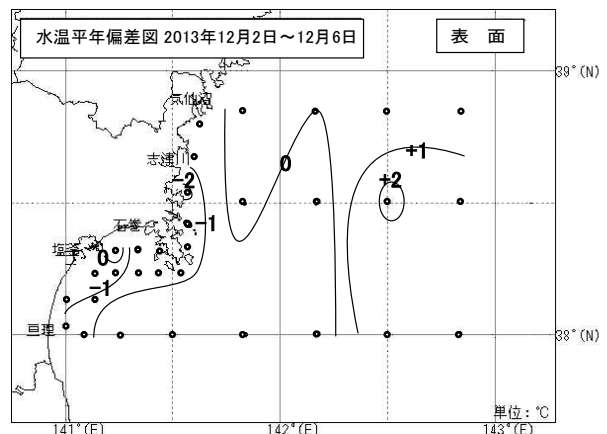
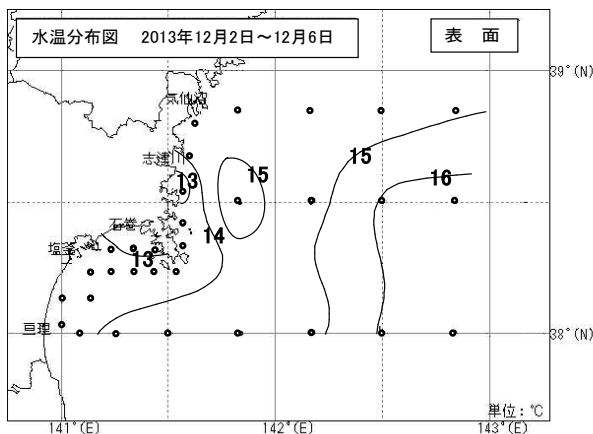
（一社）漁業情報サービスセンター配信の東北海域漁海況情報によると、東北海域の表面水温の分布について、本県沿岸は14～16℃台の水温となっており、金華山沖に暖水渦があります [P2.東北海域の海況図]。

12月上旬の定地水温は、9～13℃台となっています。平年値との比較では、岩井崎、佐須浜で平年並み、江島でやや低めとなっています [P2.定地海洋観測結果]。

海底直上水温については、仙台湾内は13～15℃台となっています。 [P3.海底直上水温図]。

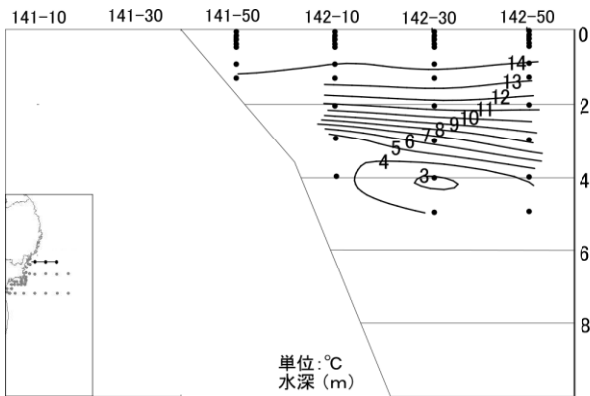
・水温水平分布図

・水温平年偏差図（現在水温と平年水温との差）

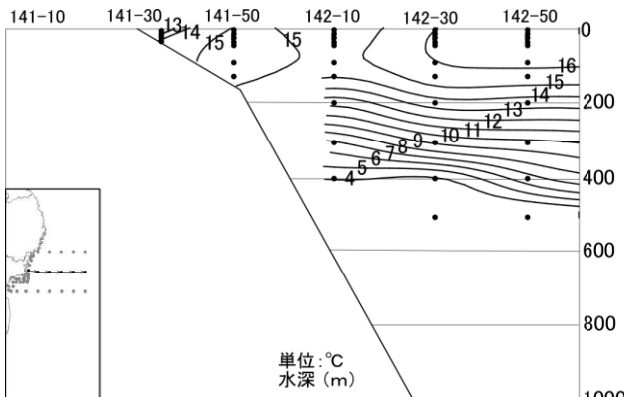


・水温鉛直断面図

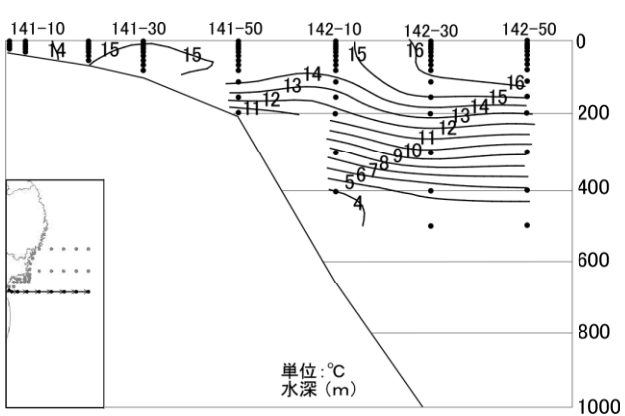
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

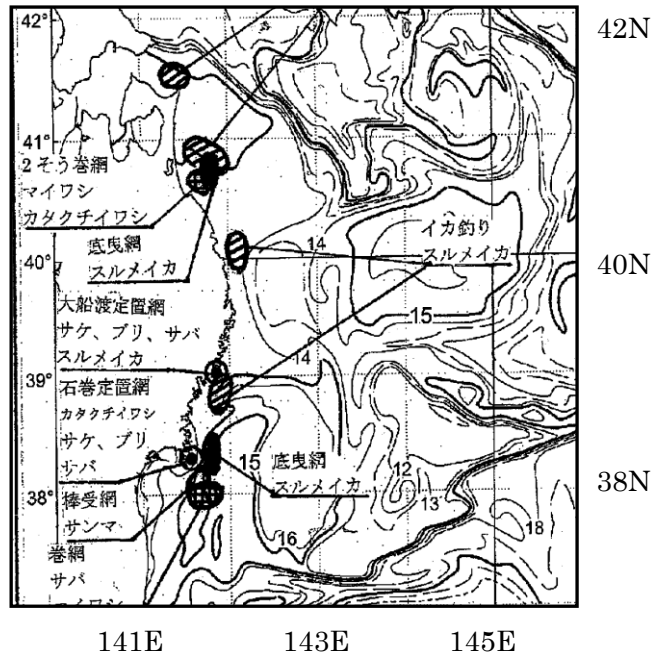


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2013年12月4日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター

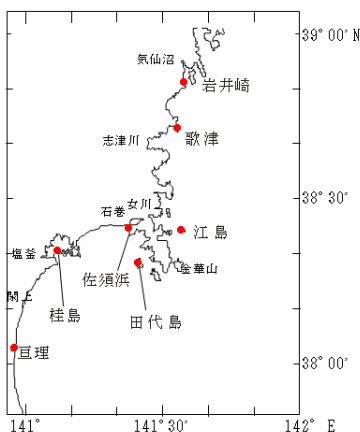


特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

(12月4日表面水温)

- ・親潮第一分枝と第二分枝が常磐沖で合流して 14°C台の冷水が仙台湾～常磐沿岸へ接近。
- ・下北～三陸沿岸を津軽暖流水が緩やかに南下。
- ・金華山沖の暖水渦は黒潮から暖水の供給を受けて中心水温 16°Cを維持。
- ・黒潮は犬吠崎沖東 60 海里を北東に進み、離岸傾向。
- ・下北～三陸 14～15°C台、仙台湾～常磐 13～14°C台。

・定地海洋観測



観測点	12月上旬	平年差	前年差
岩井崎	13.1 °C	平年並み	0.3 °C
江島	13.0 °C	やや低い	-0.7 °C
佐須浜	12.2 °C	平年並み	0.3 °C
桂島	9.6 °C	-	1.7 °C
亶理	12.3 °C	-	1.1 °C

※歌津と田代島は自動観測装置による観測を中断しています。

※平年差

岩井崎、江島 (30年)

佐須浜 (10年)

桂島 (平成24年2月から観測開始)

亶理 (平成24年10月から観測開始)

※定地海洋観測結果は、

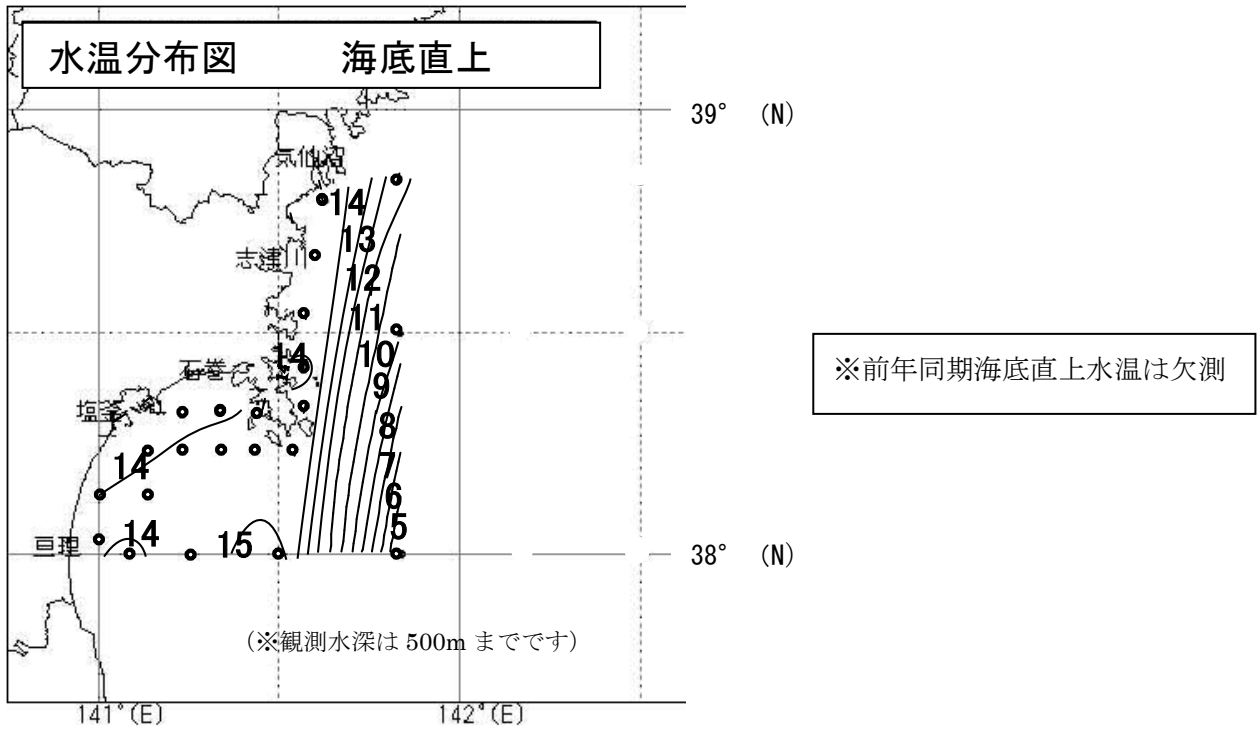
「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/kaivou/201312suion-index.html>」

でも公開中です。

・海底直上水温図

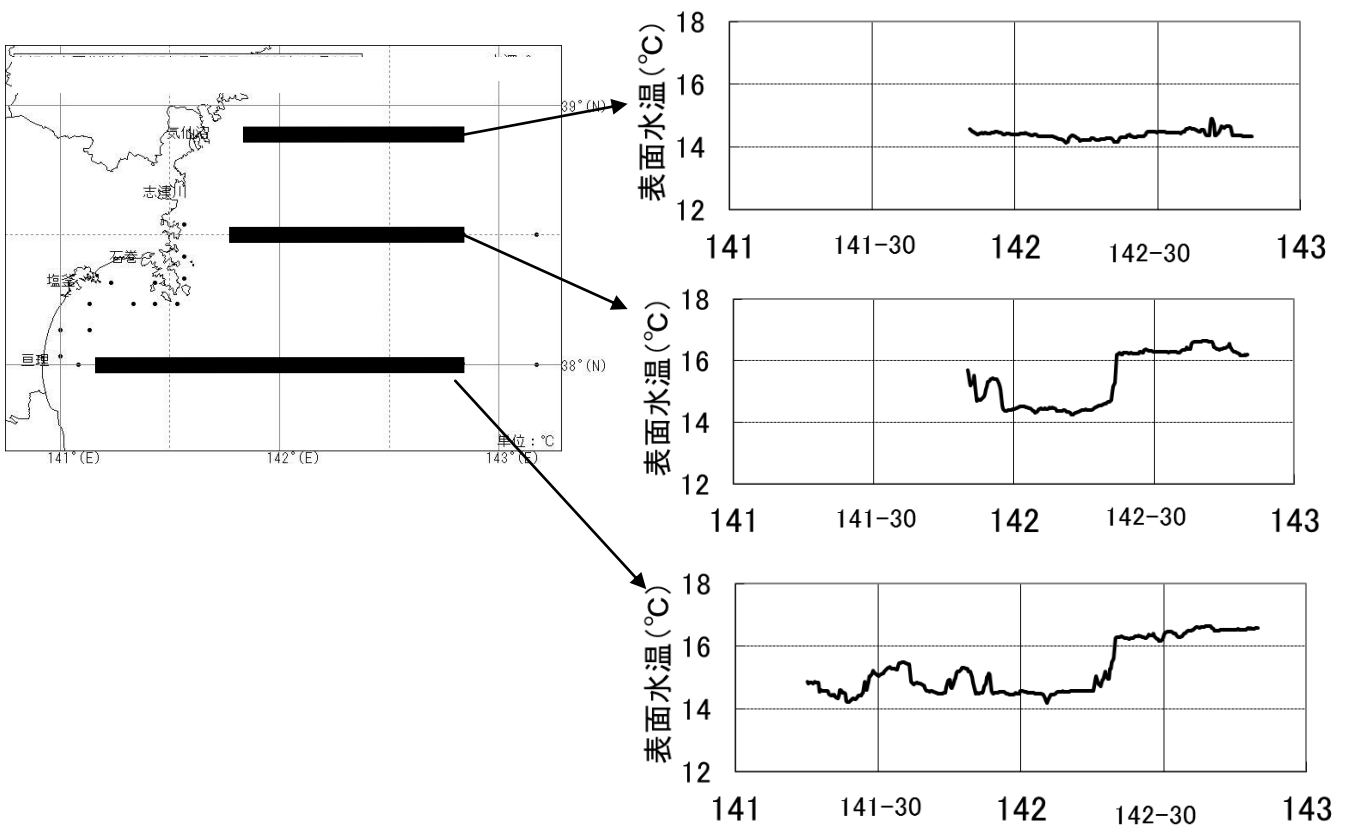
海底直上水温

(2013年12月2日～5日)



2. 表層水温情報

拓洋丸に搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記のとおりです。



3. 漁況

ブリ、カタクチイワシ、スルメイカ、スケトウダラ、シロサケの水揚げが平成22年比、前年比とも多くなっています。また、ヒラメ、マダラの水揚げが平成22年比で多くなっています。

主要魚種の県内10魚市場水揚量(集計期間:11月1日~11月30日)

単位:t

魚種	沖底	小底	旋網	定置網	刺網 全漁法	沿岸 イカ釣り	延縄	大目 流し網	一本釣り	棒受網	その他	総計	前年比(%)	H22年比(%)
カツオ							1	1	241		1	244	27	8
クロマグロ(メジ含む)				3	0		0	1			1	6	38	43
ビンナガ							174	0	0		0	174	17	31
メバチ(ダルマ含む)							532				1	532	100	84
ブリ	6	1	1,287	263	28						11	1,595	281	568
サバ類	44	0	4,285	147	16						6	4,499	261	59
サンマ				3						10,621	5	10,628	74	63
マイワシ			10	20							24	54	436	12
カタクチイワシ				924							17	941	326	117
ヒラメ	147	28		15	8						8	206	—	761
スルメイカ	900			3		84					6	993	155	125
マダラ	515	0		0	2		3				414	934	—	193
スケトウダラ	123	0			0						59	182	276	162
シロサケ	43	0		1,795	328						546	2,712	179	129

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

※0は1トン未満の水揚げを示す。

※ヒラメは、昨年5月から今年3月まで出荷制限したため、前年比を—とした。

※昨年11月は、1尾の重量が1kg以上のマダラを出荷制限していたため、前年比を—とした。

4. 大型クラゲ情報

(一社) 漁業情報サービスセンターによると (<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)、現在の出現状況は、「岩手県の定置網で1~3個程度(11月23~29日)、全般に少量」となっており、減少傾向で推移しています。

5. 調査船運航計画

拓 洋 丸	
12月16日 ~	ドック

開 洋	
12月18日 ~ 19日	刺網調査